

事業活動実績報告書

施設名	やくし幼稚園
教育理念	自ら考え行動する子どもたちの育成

事業の区分 (5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
1 事業名	音色やリズム、音楽に親しむ～鍵盤ハーモニカ演奏を通して
2 実施期間	令和 6年 4月 3日 ～ 令和 7年 3月 25日

3 取組概要	(取組日) 令和6年 4月 3日 ～ 令和 6年 5月 31日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 鍵盤ハーモニカとの出会い(年中) 唄口あそび 鍵盤の観察 音遊び(身近な音に例えてみる) 歌の音階への変換(ドレミで表現する) 指番号を知る(1～5) 	
	(取組日) 令和6年 4月 3日 ～ 令和 6年 5月 31日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること レパートリーに取り組む(年長) これまでの曲を弾いてみる。 新しい曲に挑戦する「みつばちまーち」 音階で歌ってみる 指を動かしてみる 	
	(取組日) 令和6年 6月 1日 ～ 令和6年 7月 31日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 簡単な曲を弾いてみる(年中) 「だいすきなぱん」「つなひきぞうさん」を弾いてみる。 音階で歌う。 指番号で弾いてみる。 	
	(取組日) 令和6年 6月 1日 ～ 令和 6年 7月 31日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること レパートリーに取り組む(年長) これまでの曲を弾いてみる。 新しい曲に挑戦する「ちょうちょう」「ゆかいなまきば」 音階で歌ってみる 指を動かしてみる 	

3 取組概要	(取組日) 令和6年 9月 1日 ~ 令和6年 11月 30日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること レパートリーを弾いてみる(年中) 「かえるのうた」「きらきらぼし」を弾いてみる。 曲を音階で歌う。 指番号で弾いてみる。 リズム隊の合奏に取り組む。 
	(取組日) 令和6年 9月 1日 ~ 令和6年 11月 15日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること レパートリーに取り組む(年長) これまでの曲を弾いてみる。 新しい曲に挑戦する「よろこびのうた」 音階で歌ってみる。 指を動かしてみる。 リズム隊の合奏に取り組む。 
	(取組日) 令和 6年 12月 1日 ~ 令和 7年 1月 31日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること レパートリーに取り組む(年中) これまでの曲を弾いてみる。 新しい曲に挑戦する「チューリップ」 音階で歌ってみる。 指を動かしてみる。 
	(取組日) 令和 6年 10月 1日 ~ 令和 7年 3月 14日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること カスタネットでリズム遊びをする(年少) 正しい装着の仕方を知る。 好きなように叩いてみる。 みんなで合わせてたたいてみる。 歌に合わせてたたいてみる。 
	(取組日) 令和6年 11月 16日 ~ 令和6年 12月25日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること レパートリーに取り組む(年長) これまで触れてきた楽器と合わせて合奏をする。 「よろこびのうた」 それぞれのパートを決め、パート練習を行う。 合奏を発表する。 
	(取組日) 令和 7年 1月 9日 ~ 令和7年 3月 14日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること レパートリーに取り組む(年長) 新しい曲に挑戦する。「思い出のアルバム」 これまでの曲の振り返りをする。 自分の好きな曲を見つける。 友だちと一緒に奏でることを楽しむ。 保護者の前で発表する。 

3 取組概要	(取組日) 令和 7年 1月 9日 ~ 令和7年 3月 14日	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること レパートリーに取り組む(年中) これまでの曲を弾いてみる。 自分たちの好きな曲を探す。 クラスごとに曲を決めて練習する。 保護者の前で発表する。 リズムを合わせてみる。(年少) 曲に合わせて、歌いながらカスタネットをたたいてみる。 保護者の前で発表する。	
	(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの
	(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの
	(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの
	(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの
(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの	

効果検証報告書

施設名	やくし幼稚園
教育理念	自ら考え行動する子どもたちの育成

事業の区分(5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
1 事業名	音色やリズム、音楽に楽しむ～鍵盤ハーモニカ演奏を通して
2 事業概要	打楽器、メロディ楽器をもちいて、様々な音やものを表現し、音楽表現を楽しむ。

計画時	3 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況 音楽指導教員、クラス担任教諭 年齢に合わせた楽曲の選定を行い、楽しみながら音楽表現をする。 年度が進んだころには、演奏を他者に聞いてもらう機会を持つ。
	事業後 3についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 年齢に合わせた楽曲を選定することで、無理なく取り組むことができたが、園児の発達段階においては難しい部分があるため、個別での対応は必須である。ひとつずつ取り組んでいくことで園児の自信につながり、継続して楽しんで臨むことができた。

計画時	4 事業のねらい	歌は子どもたちの声楽器になる、打楽器はリズムを体や手足で奏でることができる、メロディ楽器は指先や、口でかなでることができる。いろいろな楽器に触れることで、音の不思議や、音程、ピッチを直接感じることができる。 幼いうちにいろいろな楽器に触れて音色やリズムに楽しみながら親しんでいく。 楽しんだり親しんだりして、音楽表現、メロディ演奏、合奏につながり、音楽の楽しさを知る。
	事業後 4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 歌に親しみながら、当事業では楽器での演奏まで想定している。慣れ親しんだ歌を音階に「変身」させて歌ってみたり、実際に楽器で奏でることで絶対音感、相対音感を身につける入り口になり得る。

計画時	5 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等 鍵盤ハーモニカの演奏を主軸にして、音や音楽の楽しさを感じてもらう。楽器の集まる保育室におもむき、いろいろな楽器に触れてみる。楽器にはリズム楽器とメロディ楽器があり、それぞれの役割を身をもって経験してみる。 鍵盤ハーモニカ演奏では、恒常的にレパートリーを増やしてメロディを奏でる楽しさを感じてもらう。
	事業後 5についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 鍵盤ハーモニカ演奏は年中から始めているが、タイミングとしてはちょうど良いと考えている。園生活で年少から歌やリズムに触れていき、慣れたところでの鍵盤ハーモニカへの移行は円滑にできた。園児たちは一度身につけると、音階で歌うことや指先で奏でることに躊躇なく取り組んでくれ、レパートリーを増やすことができた。

6 環境構成	○メロディオン演奏は各保育室でゆったりと行う。 ○音楽ルームでは、クラスごとに様々な楽器に触れて、音楽に親しむ。 ○年長児は、それぞれの種類の楽器に触れていき、年度が進んだころには合奏の経験をする。 ○学年ごとに発表の機会を持ち、練習に励んだり、発表することに期待を持てるようにする。
事業後	6についての効果・検証 事業実績から推測される効果や改善点等 鍵盤ハーモニカ演奏は各保育室で行うのが適当であった。音楽ルーム構想は今年度は完成半ばとなってしまったため、次年度に充実させていきたい。様々な楽器に取り組むことはできていたので、そのまま進めていく。演奏の発表の機会は、運動会、お遊戯会、保護者参観日と複数回確保できたので続けていく。
7 期待される効果 児童の姿	取組を通じて期待される児童の姿や効果等 ○幼児期に身近にある歌を歌うことから始まり、ハーモニーを合わせること、リズムを合わせることによって、他を思いやったり、協調性が豊かになる。 ○指先で奏することで、巧緻性が育まれる。 ○いろいろな楽器に触れてみたり、挑戦しようという意欲が増える。 ○打楽器、メロディ楽器それぞれの役割を知り、音楽に興味関心の厚い児童が増える。
事業後	7についての効果・検証 事業実績から推測される効果や改善点等 手遊び歌、歌、学期での演奏という流れを見ていき、幼児期に歌や音楽に触れていくことはとても重要であると再認識した。年中からは指先の巧緻性の発達もあり、鍵盤ハーモニカの演奏を導入することは適時であったと考える。一人で奏する場合と、クラスで合わせて奏する場合とでは、目的や重要なことが異なる。それを教員が園児たちに伝えることで、他者の存在や役割を考えて演奏に臨むことができた。
8 効果検証 総括	事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて 本園では、年中児より鍵盤ハーモニカ演奏をカリキュラムに取り入れている。年中児より簡単なものから始め、2年間で10曲程度のレパートリーを奏でることができている。また年度後半より園児たちは、自分の好きな曲を選んで発表会を行っている。 様々な楽器に触れあえるカリキュラムをとおして、個のリズムや音遊びから、グループのリズム、音遊びに移行し、クラスから学年全体で合わせる演奏に至るまでの経験をしていく。 子どもたちがメロディも含めて、音楽を作り上げる。最初は難しくても、少しずつ練習を積み重ねることで自信につながり、最後には友達と楽しく演奏に臨むことができる。